

USB-SIO絶縁変換器2 USBSIO_2 取扱説明書

有限会社ビーリバーエレクトロニクス

第1版 2020. 1. 14



第1章 ご使用になる前に

- ◆特徴 2
- ◆製品構成
- ◆各部の機能と名称

第2章 使い方

- ◆ハードウェア接続 3
 - USB接続、デバイスドライバインストール
 - RS485機器接続
- ◆スレーブ側ソフトウェアの注意点

第3章 仕様

- ◆ハードウェア仕様 5
- ◆大きさ、外形寸法
- ◆お問い合わせ

第1章 ご使用になる前に

◆特徴

- 本ボードはUSB信号を絶縁したSIO (TXD, RXD) 信号に変換する変換器です。ボーレート9600bps~115.2Kbps対応、電源はUSBから取りますので準備不要です。SIO側の電源は3.3V~5Vが使用できます。
- USBとSIOが電氣的に絶縁されています。
- SIO側で電源をOFF、ONにしてもUSB側のデバイスドライバを再読み込みする必要がありません。
- USB、パソコン側のノイズの影響をSIO側で受けにくくします。
- 大きさは39×39×15mmです。重さは約10g。
- 特に調整が必要な部分はありません。

◆製品構成

本ボードは

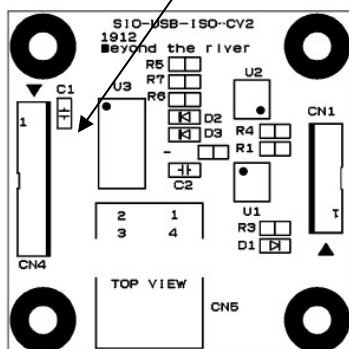
1. 基板本体
2. ハーネス 15cm
3. 取扱説明書 (本書)

から構成されます。



◆各部の機能と名称

CN4 USB信号※



CN5 USB Bコネクタ

CN1 SIO (TXD, RXD) コネクタ

※CN4 USB信号は、USBコネクタを別な部分に設置したい場合に使用します。

第2章 使い方

◆ハードウェア接続

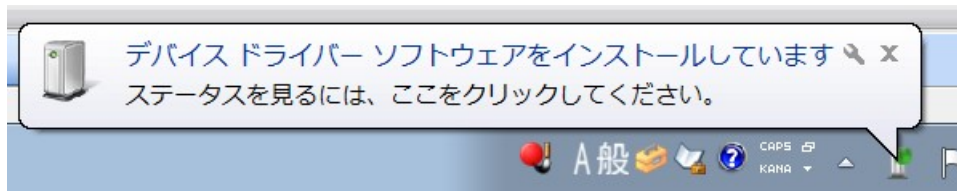
■USB接続、デバイスドライバインストール

本基板はUSBインターフェイスにFTDI社のFT232RLを使用しています。このICは仮想COM、ダイレクトドライバの2種類の使い方が可能です。Windows10では自動的にインストールされます。

それ以外のOSでは以下より使用するOSに対応したデバイスドライバをダウンロードして下さい。Windows, MacOS, Linux, android用などがあります。

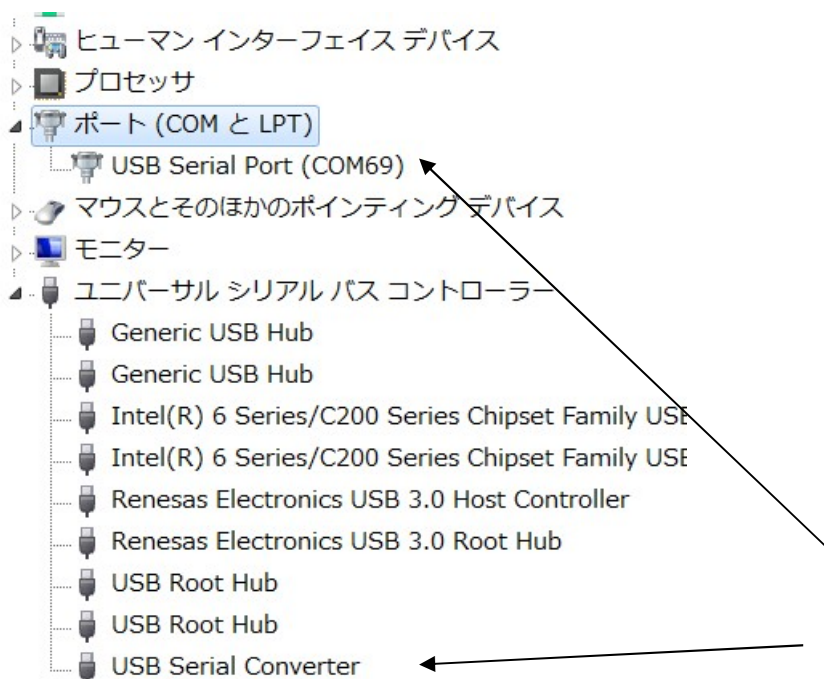
<http://www.ftdichip.com/FTDrivers.htm>

デバイスドライバのインストール方法は「FT232RL デバイスドライバ」等で検索して下さい。例がたくさんあります。



「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」と表示されたらOKです。次回からUSBケーブルを挿入すればUSBとして認識され動作します。

スタート→コントロールパネル→デバイスマネージャを見ることにより、2種類のデバイスドライバがインストールされたことが確認できます。



2種類のデバイスドライバ（VCP 仮想COM, D2XX ダイレクトドライバ）、USBコネクタを抜くとこれらは消えます。

USB SerialPort（COM69）のCOM番号は変更可能です。変更方法は「COMポートの変更」等で検索して下さい。

■SIO接続

基板側コネクタ B4B-EH（JST） ソケットEHR-4 ピン BEH-001T-P0.6

番号	名称
1	RXD
2	TXD
3	+3.3~5V
4	GND

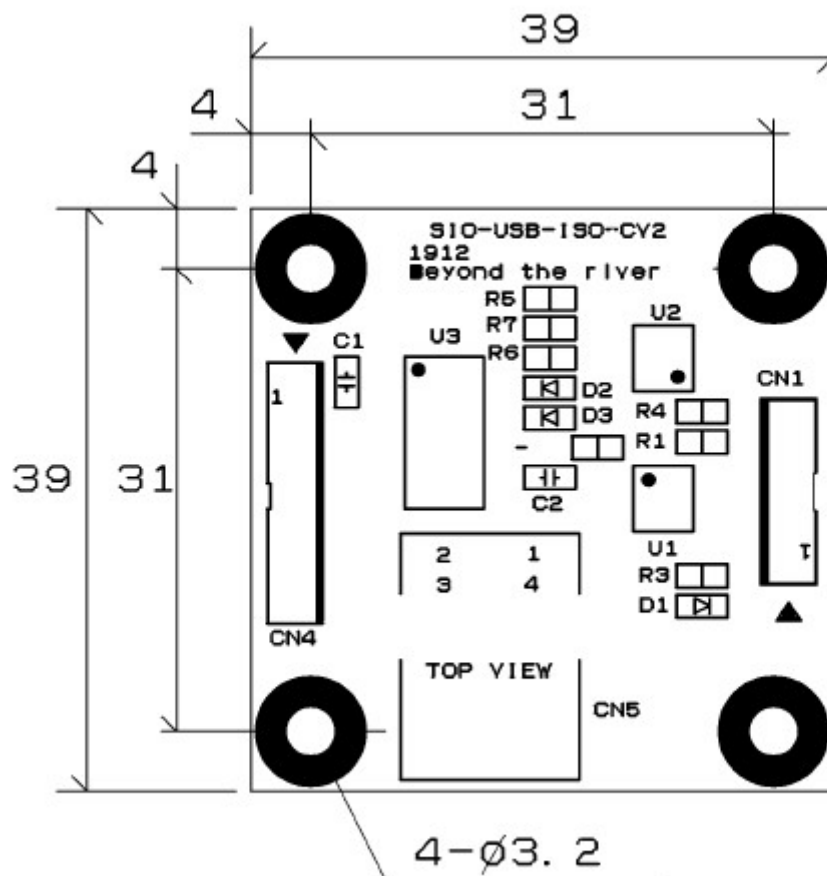
弊社のRL78104CPUボード等、SIO端子が用意されているものに添付コネクタで直接接続してUSBとして使用できます。+3.3V~5Vで使用できます。

第3章 仕様

◆ハードウェア仕様

USB-SIO変換器	仕様
使用IC	FT232RL FTDI社
ボーレート	9600bps~115.2Kbps
電源	USBから供給、外部印加不要
SIOレベル	+3.3V~5V
絶縁	フォトプラTLP2361相当
大きさ	39×39×15mm
重さ	10g

◆大きさ、外形寸法



◆お問い合わせ、特注ご相談

以下のところにお尋ね下さい。

〒350-1213 埼玉県日高市高萩 1 1 4 1 - 1

TEL 042 (985) 6982 営業時間 9~17 時

FAX 042 (985) 6720

e-mail : info@beriver.co.jp

Homepage : <http://beriver.co.jp>

有限会社ビーリバーエレクトロニクス ©Beyond the river Inc. 20200124